



## デジタル化の促進

### 産官学連携でAI技術の利活用を目指す

ヨルダン AIエコシステム促進プロジェクト

#### 停滞する経済を活性化

デジタル技術が飛躍的な進歩を続けるなか、その利活用は、開発途上国が抱えるさまざまな開発課題の解決に貢献するものと期待されています。

中東の国ヨルダンは、周辺国の情勢不安やコロナ禍などの影響で経済が低迷しています。特に若年層の高い失業率が問題となっており、また、外貨獲得の手段は観光業などに限られています。

こうした状況を打開するため、ヨルダン政府が力を入れているのがAI技術の普及です。2019年にデジタル経済・起業省(MoDEE)を新設し、起業家育成、電子決済の推進、デジタルスキルの開発などに取り組んでいるほか、AI技術の利活用を進めるため、企業や大学、行政などを有機的につなげる「AIエコシステム」の構築を目指しています。

#### 産官学で実証事業に取り組む

JICAは、こうしたヨルダン政府の取り組みに協力するため2022年12月にプロジェクトを開始し、産官学のキーパーソンをメンバーとするAI運営委員会や事務局を設置。MoDEEと共に運営委員会への助言や事務局の運営支援などを行っています。

プロジェクトでは、AI技術を活用し社会的課題の解決を目指す実証事業を4回実施する計画です。

実証事業は、MoDEEが考案した電子政府、農業、教育、エネルギー分野など40を超える候補事業のなかから、プロジェクトで実現可能性やインパクト、リスク分析などを行い、それを基に毎回AI運営委員会が選定。対象となった事業ごとに参画する民間企業や大学、研究機関などを募り、産官学の実証事業コンソーシアムを立ち上げる予定です。

こうした事業の選定、参加企業や大学などの公募、実証事業の実施というサイクルを4回くり返しヨルダンのAIエコシステムを構築していくことにより、産官学でAI技術の利活用が進み、革新的なビジネスや雇用の創出、産業の国際競争力や公共サービスの向上などにつながる事が期待されています。

#### VOICE

##### ヨルダンを世界のAI先進国に

ヨルダン デジタル経済・起業省AI課  
課長  
ラマ・アラビアットさん



プロジェクトを通じてAIの利活用が進めば、さまざまな分野で横断的かつ有意義な進歩が見られるでしょう。さらに、プロジェクトによって関連する法律や制度が整備されれば、産業の創出や市民生活の向上にもつながります。ヨルダンを中東そして世界のAI先進国に、それが私の目標です。

##### 大臣から感謝の言葉をいただきました

JICA専門家  
株式会社日本開発サービス  
小暮陽一さん



今後の活動計画や実証事業の選定基準などを提言したところ、IT業界や先端技術の動向などにも造詣が深いMoDEE大臣より、感謝の言葉と共に高い評価をいただきました。ヨルダン側はプロジェクトに非常に積極的かつ協力的で、関係者との協議や関連情報の収集もスムーズに進んでいます。



デジタル経済・起業省大臣などヨルダン関係者への事業説明